

平田 一郎 (2025 年度日本英語学会賞 (著書) 受賞)

この度は拙著『グライス語用論の展開—非自然的な意味の探求』に対し、「日本英語学会賞 (著書)」をいただき、誠にありがとうございました。このような立派な賞を頂きまして心より光栄です。まず、賞の審査に当たってくださった学会賞委員会の皆様方に深く感謝とお礼を申し上げたいと思います。多大なお手数とお時間を頂戴いたしました。本当にありがとうございました。受賞後に頂きました「審査講評」のお言葉1つ1つを、噛みしめる思いで拝読させて頂きました。また頂いたコメントから次に進む勇気を得た思いです。

10 年以上前に、英語の呼びかけ (vocative) の不思議な使われ方に魅了され、それがきっかけで本書にて展開している内容を考えるに至りました。それは、*Gilmore Girls* というドラマの中で使われていた呼びかけです。冷蔵庫から取り出した古いピザがまだ食べられると主張する母親 (Lorelai) に対し、娘 (Rory) が Oscar! と呼びかけ、これに対し母親が Felix! と呼び返します。もちろん 2 人は Oscar でも Felix でもありません。

Oscar と Felix は、*The Odd Couple* という古いコメディのキャラクターで、Oscar がズボラで細かいことは気にしない性格、Felix が神経質で繊細な性格として設定されています。これをを利用して、娘は母親を Oscar! と呼びかけることで「Oscar のように卑しいことをするな」といった気持ちを伝え、母親は娘を Felix! と呼びかけることで「Felix のように細かいことを言うな」という気持ちを伝えています。

この使われ方をなんとか語用論的に一貫した形で説明しようと思い、新しいものから始めて多くの語用論的理論を読み耽り、最後に Grice (1957) の非自然的意味にたどり着きました。呼びかけという、いたってシンプルな言語現象が、哲学的な概念を動員しなければ説明がつかない、とはその当時夢にも思っていませんでした。

このような形で、自分の興味を追究することができたのも、同僚の先生方、事務局の皆様、家族に支えられてのことです。そして学生達との議論が、問題を整理し考えを進める上でなくてはならないものであったことも特記させてください。皆様、本当にありがとうございました。